

交渉NEWS

東日本ユニオン東京地本 NO,44 2021年 9月29日

申8号「コロナ禍における労働環境に関する申し入れ」支社回答・交渉 報告

9月28日、6月に提出した申8号に対する支社回答が示され、交渉を行いました。

〈申8号内容と支社回答〉

- 1、勤務で不織布マスクを希望する者に不織布マスクを支給すること。**
引き続き、必要な対応を行っていく考えである。
- 2、各職場における「必要物資(手洗い石鹸、坑ウイルス剤、うがい薬、ペーパータオルなど)」は、滞りなく配布・設置すること。**
引き続き、必要な対応を行っていく考えである。
- 3、「共用使用」としている被服類を個人貸与とすること。**
現状で対応されたい。
- 4、各詰所、休憩室、更衣室などのソーシャルディスタンスを確保すること。**
引き続き、感染予防に取り組んでいく考えである。
- 5、各詰所、休憩室、更衣室、トイレなどに換気のための網戸を設置すること。**
現状で対応されたい。
- 6、マスク着用されていない「お客様」に対する会社の対応を明らかにすること。**
新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、お客さまへご協力をお願いしているところである。
- 7、社員感染者に関して担当線区・職種等を開示し、感染拡大予防に努めること。**
新型コロナウイルス感染症に関する情報については、必要な情報を周知するとともに感染予防に努めている。
- 8、ワクチン接種の把握などに関する東京支社の考え方を示すこと。**
職域接種については「新型コロナワクチン接種の実施および具体的な実施方法について」に則り取り扱っている。
- 9、医学的観点に立った統一的な感染症予防対策を、グループ会社も含めたすべての職場で着実に実行すること。**
東京支社危機管理本部指示に則り、引き続き感染予防に取り組んでいく。



《私たちの主張(抜粋)》

- ☆グループ会社に出向しているエルダー社員に対して“マスク”が配布されていない。この件は今回で4度目の指摘である。
- ☆“マスク”すら社員に配布しないグループ会社の姿勢・新型コロナウイルス感染対策を東京支社危機管理本部としてどう考えているか。
- ☆エルダー社員の『相談』に対して、支社雇用推進 G を中心にして対応して頂きたい。
- ☆支社雇用推進 G を活用して、エルダー社員の新型コロナウイルス感染予防や不安解消に努めてことを約して頂きたい。
- ☆新型コロナウイルスの現状をどのように考えているか。
- ☆支社回答にあるように「必要な対応を行っていく考えである」とするならば他項の回答にある「現状で対応されたい」としていることに疑義を感じる。
- ☆貸与被服の共用を改善されたい。
- ☆発熱・悪寒を訴えるお客さまやマスクを着用していない酔客について「感染への恐怖」を感じる。
- ☆お客様との IC カードや現金のやり取りについて、グループ会社も含め対応の改善を求める。
- ☆「社員の感染状況」は、新型コロナウイルス感染予防に必要な情報であると考え。支社危機管理本部として情報開示を進めていただきたい。
- ☆社員のワクチン接種について把握しているか。

《支社側の主張(抜粋)》

- ★本社を介してグループ会社に「指摘された内容」を伝える。
- ★エルダー社員の方々が雇用推進 G に話して頂くこと相談すること「了解しました。」
- ★新型コロナウイルスに関しては、罹らない・うつさないために三蜜回避や換気に努めている。
- ★貸与被服の共用については、『職場から声があがっていない』よって現状で対応されたい。
- ★具合の悪いお客様対応で『パーテーション』などを活用してしる駅もある。
- ★IC カード・現金の扱いについては関係主管部とも話していく。
- ★社員の感染状況の掲出は個人情報などもあり“現場長判断”で各区所で行っている。
- ★ワクチン接種については職域接種と居住地接種ともに進んでいる、12月中旬まで職域接種を予定している。



《交渉を終えて》

- 出向しているエルダー社員に対するマスク配布は、改めてグループ会社に働きかけることを確認した。**
- 支社雇用推進 G の活用を確認した。**
- 貸与被服の共用について今後も改善に向けて論議することを確認した。**
- IC カード・現金の扱い方をグループ会社も含めて検討することを確認した。**

以上の4点について確認できたことは『前進』させることが出来ました。

会社施策や新型コロナウイルス感染予防に関し「医学的」裏付けが、会社や職場に対しする信頼感や不安感の払拭に繋がることを考えていました。今交渉では論議を深め施策は反映させるには至りませんでした。貸与被服の共用などにおいて「職場から声があがっていない」ことを支社側出席者から指摘されました。職場の仲間たちの声を実現することをこの間取り組んできましたが、まだまだ私たちのたたかいが出来ていないことの受けとめ今後活かしていきます。

緊急事態宣言は解除になりますが『命を守るために』ご自愛ください！